

マスメディア論A

マスメディア論

担当：後藤 登

第6回 (2021/11/09)

開講時：毎週火曜4限目 (15:30-17:15)

はじめに

皆さん、こんにちは。

「マスメディア論A/マスメディア論」を担当いたします後藤です。

皆さん方の「小レポート」をととても楽しく読ませていただきました😊

本日は「広告の「文化的機能」の事例研究（1）」です。

本日の授業

広告の「文化的機能」の事例研究（１）

本日の小レポート

広告の「文化的機能」 の事例研究（１）

第4回目の授業で、
広告には4つの「機能」（社会的役割）があり、
そのなかの1つに「文化的機能＝文化創造機能」があると説明しました。

再掲

広告の機能（社会的役割）

① 経済的機能 = 需要喚起機能

② 社会的機能 = 情報伝達機能

③ 政治的機能 = 論点提示機能

④ 文化的機能 = 文化創造機能

◎ 1つの広告で複数の「機能」をもつこともあります◎

再掲

広告の機能（社会的役割）

④ 文化的機能 = 文化創造機能

広告の制作者には

「コピーライター」や「CMクリエイター」といった肩書きがつくように、
広告はときに「芸術的な価値をもった作品」として捉えられる場合があります。
広告は「芸術作品」として文化を作り上げていく役割をもつという考え方です。

身近な具体例☺



本日の授業では、
日本で最も歴史のある総合広告賞（1947年創設）といわれる
「**広告電通賞**」を受賞した広告作品を事例に、
広告の「**文化的機能＝文化創造機能**」について考えてみたいと思います。

「**広告電通賞**」は、
「優れた広告コミュニケーションを实践した広告主を顕彰することにより
広告主の課題解決の道を広げ、
日本の産業・経済・文化の発展に貢献すること」（*）
を目的としています。

* 「**広告電通賞とは**」 広告電通賞ウェブサイト：
<https://adawards.dentsu.jp/about/>

ちなみに、「第73回・電通広告賞」は以下の7つの部門に分かれています。

①**プリント広告部門**・・・新聞・雑誌等の印刷広告の部門

②**オーディオ広告部門**・・・ラジオ等の音声広告の部門

③**フィルム広告部門**・・・テレビ等の映像（動画）広告の部門

④**OOH広告部門**・・・OUT OF HOME広告の略で屋外広告、交通広告等の部門

⑤**ブランドエクスペリエンス部門**・・・顧客にとって価値ある広告体験のできる広告の部門

⑥**エリアアクティビティ部門**

・・・地域における多種多様なコミュニケーション活動を行なう広告の部門

⑦**イノベーティブ・アプローチ部門**

・・・これまでにない新しい手法にチャレンジし、
消費者とブランド・企業を強く結びつける広告の部門

では、いまから、以下のウェブサイトに掲載されている
「第73回・広告電通賞」受賞作品のうち、
前半の「プリント広告」「オーディオ広告」「フィルム広告」
の3部門の受賞作品すべて（計30点）
を閲覧してみてください。

「第73回 広告電通賞 入賞一覧」

広告電通賞ウェブサイト

<https://adawards.dentsu.jp/prize/list/73>

◎一部の広告作品では、広告主による掲載許諾が得られず、
作品自体が閲覧できないものや企画書のみ閲覧できるものもあります◎

いかがでしたでしょうか？

いずれも、実際の広告ですので、例えば、「経済的機能」「社会的機能」などの他の機能も併せ持った広告だと思いますが、なかでも、「文化的機能」の要素が大きな広告も多かったのではないかと思います。

では、次に、

「プリント広告」「オーディオ広告」「フィルム広告」の各部門の中から、最も印象に残った広告を1点ずつ選んで、各広告について考えたことを「三角ロジック」の要素を入れながら、ノートやメモアプリにまとめておいてください。

本日の小レポート

本日の小レポート（授業参加点＝4点満点）

以下のテーマについて、OGU-Caddieに記入してください。

1. 「第73回・広告電通賞」受賞作品のうち、
前半の「プリント広告」「オーディオ広告」「フィルム広告」
の各部門の中から、最も印象に残った広告を1点ずつ選んで、
各広告について考えたこと
(各200字以上/三角ロジックで)

*「部門名」「企業名（広告主）」を明記すること

*全部で3点あるので、合計600字以上になります☺

2. 前半の広告全体を通して考えたこと（100字以上/三角ロジックで）

提出期日：11/13（土）まで

「小レポート」「課題レポート」の評価ポイント

再掲

①すべての課題に回答しているか？

②字数・提出期日等の条件を守っているか？

③他の受講生の回答をコピペしていないか？⇒関係者全員が0点！

④「三角ロジック」の要素を入れてレポートを作成しているか？

レポートの書き方のヒント😊

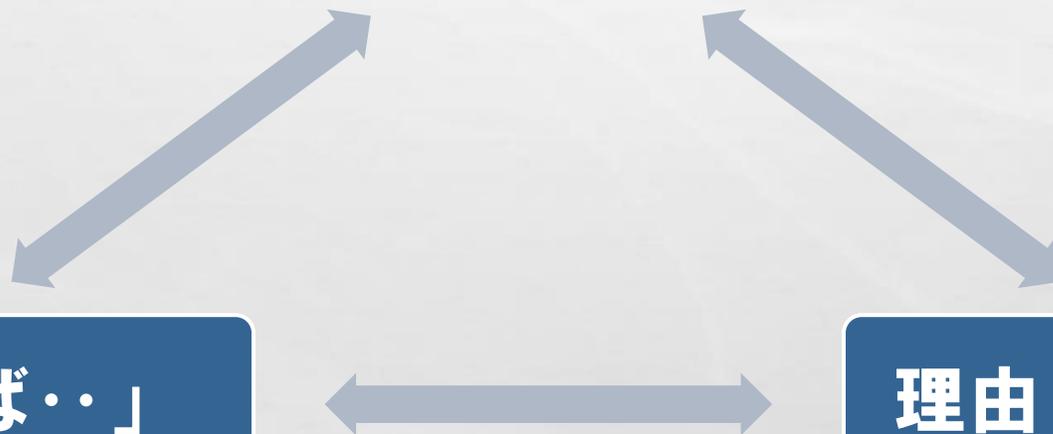
「三角ロジック」で書く

結論「〇〇である」

再掲

具体例「例えば・・・」

理由「なぜなら・・・」



「三角ロジック（結論・理由・具体例）」の要素を使った文章の例

再掲

課題□□□□について、私が考えたことは○○○○である。
なぜ、そのように考えたかというと、△△△△だからである。
例えば、××××というデータ/例を挙げることができる。
したがって、私は○○○○であると考えた。

○○○○＝結論、△△△△＝理由、××××＝具体例

質問と質問への回答の方法

「質問」がある場合は後藤までメールをお願いします。

後藤 登

goto@ogu.ac.jp

科目名・学籍番号・氏名を必ず記載してください。

「回答」は原則として質問者に直接メールで回答します。
ただし、他の受講生にも参考になると思われる回答は
プライバシー情報を除いて、他の受講生にも共有します。

では、次回また、OGU-CADDIEでお会いしましょう😊

次回（第7回目）の遠隔授業は
11/16（火）4限目（15：30-17：15）
になります。